

重点目標 5

少子化対策と 次代を担う人材の育成

政策 1 子育て支援の充実

- 施策 1 結婚、妊娠・出産、子育ての総合的な支援
- 施策 2 子育て環境の充実

政策 2 教育環境の充実

- 施策 1 よりよい教育環境の創出とコミュニティスクールの推進
- 施策 2 小中連携教育の推進
- 施策 3 家庭や地域の教育力向上と連携強化



政策 1 子育て支援の充実

施策 1 結婚、妊娠・出産、子育ての総合的な支援

目指す姿

子どもたちが心身ともに健やかに育つとともに、安心して子どもを産み育て、子育ての喜びを感じながら、親と子が共に成長することができる環境が実現しています。

指標



取組の方向

- (1) 若い世代が結婚や家庭を持つことへの夢を抱き、その夢を叶えることができるよう、地域が一体となって、その幸福感や喜びを伝えるとともに、関係機関等と連携した支援により、結婚機運の醸成を図ります。
- (2) 若い世代に対する妊娠・出産に関する正しい知識の普及啓発を図るとともに、妊娠・出産に関する不安や育児の不安・負担を軽減するための支援を充実し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。

主要事業

No	主要事業	内 容
①	結婚の希望をかなえる環境づくり	<ul style="list-style-type: none">・結婚相談体制の充実・出会いの場、ふれあいイベント等の提供
②	妊娠・出産への切れ目のない支援	<ul style="list-style-type: none">・不妊治療費助成の充実など妊娠を望む夫婦への支援・妊婦健康診査や妊産婦医療費助成の充実・妊娠期からのワンストップ相談支援を行う子育て包括支援センターの整備・新生児訪問等を通じた「顔が見える」ネットワークの構築・マタニティマークの啓発

政策 1 子育て支援の充実

施策 2 子育て環境の充実

目指す姿

高齢者をはじめとする地域の人たちの体験を生かし、地域社会が一体となって、子育ての支援に取り組み、子育て家庭が愛情を持って安心して子どもを産み育て、子どもがいきいきと子どもらしく育っています。

指 標



取組の方向

- (1) 子育て支援拠点を中心に、子育て家庭の育児不安の解消など、地域における子育て支援の活動の輪を広げます。
- (2) 仕事や子育ての両立支援やさまざまな保育ニーズに対応するため、こども園の充実など、小学校就学前の子どもに質の高い教育と保育を一体的に提供します。
- (3) こども園や保育園と小学校の滑らかな「生活の接続」と「学びの接続」に向け、環境が変わっても子どもが本来持っている能力を伸ばすことができるよう、互いを理解し見通しを持った保育・教育を進めます。
- (4) 子どもの健康づくりを支援するため、病気の早期発見・早期治療を促進するとともに、子育て世代の経済的負担の軽減や健康診査等の支援策の充実を図ります。

主要事業

No	主要事業	内 容
①	地域全体で子育てを支える環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点の整備 ・多世代交流の促進と交流施設の整備 ・子育て相談・情報提供等の充実
②	仕事と子育ての両立支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園の整備促進 ・子育て支援策・子育て支援サービスの充実 ・子育てニーズと施設利用を適切に結びつける保育コンシェルジュの設置 ・休日・夜間保育の実施と病児・病後児保育、一時預かり等の充実 ・放課後児童クラブの充実
③	子どもの健やかな成長支援	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育と学校教育の連携強化 ・児童発達支援センターの設置による療育支援の強化 ・こども医療費助成制度の充実 ・健康診査・栄養指導の充実



政策 **2** 教育環境の充実

施策 **1** よりよい教育環境の創出と コミュニティスクールの推進

目指す姿

地域の教育力や教育資源を活用した教育活動など、地域との協働・連携が活発な特色ある学校運営が行われ、児童生徒がいきいきと充実した学校生活を送っています。

指 標

	平成 26 年度	平成 32 年度
学校教育に関する満足度	現状値 69.5%	目標値 80.0%
魅力ある新中学校の建設	現状値 —	目標値 開校

取組の方向

- (1) 児童生徒のよりよい教育環境づくりをめざし、学校再編計画に基づく小中学校の再編成を進めるとともに、児童生徒の安全確保と地域住民の応急避難場所としての役割を果たすため、校舎・体育館等の改修整備を進めます。
- (2) 児童生徒が、基礎的・基本的な学習内容や、実生活の中で知識や技能を活用する力を身につけられるよう「わかる授業」を推進するとともに、将来の夢や希望を育み、自ら課題を見つけ、よりよく解決する資質や能力を育成します。
- (3) 児童生徒がさまざまな体験活動を通じて、自らを律しつつ、他人とともに協調し、人を思いやる心やボランティアなどの社会に貢献する態度を養うための取組を推進します。
- (4) 生涯にわたり健康に生活するための体力を身に着けられるよう、体力の向上を図るとともに、望ましい食習慣を育成し、健やかな体づくりを推進します。
- (5) 児童生徒の一人ひとりの教育ニーズに適切に対応するため、特別な教育的支援を要する児童生徒に対する指導の充実を図ります。
- (6) 各学校が、特色ある学校づくりを推進するため、家庭や地域、企業等と連携・協力した「伊豆市型のコミュニティスクール」を推進し、豊かな心や郷土への愛情を育みます。

主要事業

No	主要事業	内 容
①	魅力ある教育環境の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編計画の推進 ・学校施設の改修整備の促進
②	確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業の展開とICT化の推進 ・小中連携教育の推進 ・「ふるさと教育」・「国際理解教育」を柱とした学校活動の推進 ・社会体験学習や地域の教育力を生かした教育の推進 ・情報活用能力や情報モラル、コミュニケーション能力を高める学習の充実
③	豊かな人間性や健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・心を育む教育活動の推進 ・いじめゼロ運動の推進 ・学校図書・読書活動の推進 ・部活動や体力向上の推進 ・食育の推進 ・防災教育・交通安全教育の推進
④	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教室における指導の充実 ・全教職員の特別支援教育に係る指導力の向上 ・児童発達支援センター等と連携した相談支援の充実
⑤	地域と連携した独自性のあるコミュニティスクールの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・企業等による参画型授業の推進と学校支援の充実 ・コミュニティスクール推進委員会との連携による特色ある学校づくりの推進

政策 2 教育環境の充実

施策 2 小中連携教育の推進

目指す姿

縦割り活動を通じた異学年間の交流や教職員の連携、地域の教育資源の活用が活発となり、児童生徒がいきいきと充実した学校生活を送っています。

指 標



取組の方向

- (1) 9年間を見通した系統的な指導により、一層の学力の向上と十分な学校生活への適応を図り、児童生徒の交流活動や教職員の連携、地域教育資源の活用による教育活動の充実を図ります。

主要事業

No	主要事業	内 容
①	小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none">・土肥地区における小中一貫校の設立・ALTの効果的な活用等による英語教育の充実・縦割り活動を通じた異学年間の交流促進
②	教職員の交流・連携の推進	<ul style="list-style-type: none">・教職員交流の実施・乗り入れ授業や相互授業公開等の実施

政策 2 教育環境の充実

施策 3 家庭や地域の教育力向上と連携強化

目指す姿

地域の子どもは地域で育てるという意識が向上し、学校・家庭・地域等が連携し、地域全体で子育て支援や子どもたちの教育に取り組むとともに、多世代が共に学び合う交流が進み、誰もがいきいきと活発に暮らしています。

指 標



取組の方向

- (1) 放課後における児童の健やかな育成など、地域・学校等と連携して子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進します。
- (2) 虐待の未然防止のため、地域や関係団体との連携強化や養育相談の充実、また、虐待の恐れのある家庭の早期発見に努めます。
- (3) 家庭の教育力を向上させるため、家庭教育支援員の配置など、家庭教育支援の充実を図ります。

主要事業

No	主要事業	内 容
①	地域全体で子どもたちを育てる環境整備	<ul style="list-style-type: none">・放課後子ども教室の開設・子育て支援拠点の整備・多世代交流の促進・子どもや子育て家庭の交流の場・機会の提供・ふるさとへの誇りを高める「ふるさと教育」の推進・地域における読書活動の推進
②	児童虐待発生防止	<ul style="list-style-type: none">・地域の見守り体制の整備や関係機関との連携強化・養育に関する相談体制の充実
③	家庭教育支援の充実	<ul style="list-style-type: none">・家庭教育支援員の配置・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進・スマートフォンやSNS等に対応した情報モラルの向上